【授業科目】産業看護学特論Ⅱ（専門性の探求）　Advanced Occupational Health NursingⅡ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大谷 喜美江、柴田 英治、後藤 由紀	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	産業保健・産業看護の歴史をひもとき、現状、将来展望を概観することで、産業看護職の役割を理解する。企業活動を理解したうえで、産業保健・産業看護の展開のためのシステム、ネットワークづくり、職業性疾病・作業関連疾患とその予防対策、メンタルヘルスケア、労働災害防止対策における産業看護職の役割、国際的にみた産業保健・産業看護活動、産業看護教育等について関連する文献を精読し、学生によるプレゼンテーションと討議を行う。学生が主体的に参加し、教員と議論することで学びを深める討議形式で展開する。授業は実務家教員（大谷、柴田、後藤）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業時間内に学生とのディスカッションを通して検討し、学生にコメントする。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの④「健康に対する社会的ニーズを認識し、保健・医療・福祉チームの一員として、国内外で広く社会に貢献する能力を体得する」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①産業看護の本質を理解し、基本的な知識・技術を習得することができる。 ②事業者・労働者への産業看護職の支援のあり方や産業看護職に必要なコンピテンシーについて考究することができる。 ③産業看護のあるべき姿と現実のギャップを埋めるための方策について、自らの考えを構築することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前：各自で書籍・論文などを検索して読み、各回のテーマについて理解を深めておき、自身の疑問点や意見を整理しておく（120 分）。 事後：討議の内容を振り返り、さらに学びを深める。（30 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第 1 回　オリエンテーション	大谷
	第 2～4 回　企業活動の理解（日本の労働市場、労使関係、労働組合など）	後藤
	第 5～6 回　産業保健・産業看護の展開のためのシステム、ネットワークづくり	大谷
	第 7～8 回　職業性疾病・作業関連疾患（産業安全・労働災害含む）とその予防における看護職の役割①②	大谷、柴田、後藤
	第 9～10 回　労働災害防止対策における産業看護職の役割	柴田
	第 11～12 回　国際的にみた産業保健・産業看護活動	後藤
	第 13～14 回　産業看護教育とこれからの産業看護の展望	後藤
	第 15 回　産業看護職の社会的役割・まとめ	大谷、柴田、後藤

評価方法 評価基準	討議への参加態度　50% レポート・プレゼンテーションの総合評価　50%		
教科書	特に指定しない	参考書等	適宜、雑誌や書籍を提示する。